

4.21. SNMP対応機器監視設定-条件合致検知画面

SNMP 対応機器監視機能の条件合致検知の設定をします。SNMP 対応機器から取得したデータと設定した条件と比較し、取得したデータが条件に合致した場合と、合致が解除された場合の動作をそれぞれ設定します。

【設定方法】

- ① 監視設定番号（1～20）を選択します。
- ② 機器名称を入力します。
- ③ 接続先アドレスを入力します。
- ④ 「OID」欄に状態を監視したい TRAP の OID を入力します。監視する OID を「指定 OID のみ」「指定 OID 以下全て」から選択します。型や値を指定する場合は、それぞれの項目を設定します。判定条件を選択します。
型で「Integer」を選択した場合、条件は「と等しい」「以上」「以下」から選択します。
型で「OCTET STRING (String)」を選択した場合、条件は「と等しい」の固定になります。
型で「OCTET STRING (Binary)」を選択した場合、条件は「と等しい」「を含む」から選択します。
- ⑤ 監視周期の秒数（0～60）を入力します。省略または 0 を入力した場合、監視機能が無効になります。

《通信タイムアウト時の動作設定》

- ⑥ 通信タイムアウト時に条件解除時動作をおこなう場合は「有効」を選択します。
- ⑦ 通信タイムアウトと判定するまで SNMP コマンドの再送回数を設定します。

《条件合致時の動作設定》

- ⑧ 条件に合致した場合の本製品の動作設定をおこないます。
- ⑨ 条件に合致した場合のメール送信設定を選択します。
メール送信を「有効」にした場合、「題名」・「本文」を選択後、「メール送信先」を選択します。
- ⑩ TRAP 送信をおこなう場合は、「有効」を選択します。

《本製品が TRAP 送信有効時に送信する TRAP 》

OID 「1.3.6.1.4.1.20440.4.1.6.13」

名前 「trapPatliteSNMPGetMatched」

「4.9. リレー接点出力設定画面」で、デジタル出力を選択した場合、「デジタル出力」が表示されます。

- ⑪ デジタル出力の動作を「ON」「OFF」「変化なし」から選択します。

図 4.21.1 SNMP 対応機器監視設定 - 条件合致検知画面 その 1

《条件解除時の動作設定》

- ⑫ 条件が解除された場合の本製品の動作設定をおこないます。
- ⑬ 条件が解除された場合のメール送信設定を選択します。
メール送信を「有効」にした場合、「題名」・「本文」を選択後、「メール送信先」を選択します。
- ⑭ TRAP 送信をおこなう場合は、「有効」を選択します。

《本製品が TRAP 送信有効時に送信する TRAP 》

OID 「1.3.6.1.4.1.20440.4.1.6.14」

名前 「trapPatliteSNMPGetReleased」

「4.9. リレー接点出力設定画面」で、デジタル出力を選択した場合、「デジタル出力」が表示されます。

- ⑮ デジタル出力の動作を「ON」「OFF」「変化なし」から選択します。
- ⑯ 条件解除動作時に、監視状態に戻す監視設定を選択します。
- ⑰ 「設定」ボタンをクリックして設定を反映します。



図 4.21.2 SNMP 対応機器監視設定 - 条件合致検知画面 その 2

表 4.21.1 SNMP 対応機器監視設定 - 条件合致検知項目

項目	内容	初期値	入力制限	設定省略
機器名称	監視対象の機器名称を入力します。	空欄	半角アポストロフィー「'」以外の全角半角最大 31 文字	○
接続先アドレス	監視対象のアドレスを入力します。	空欄	IP アドレス形式とホスト名に使用可能文字 最大 63 文字	×
OID (判定条件)	取得する OID を入力します。	空欄	数字と「,」(ピリオド) 最大 127 文字	×
指定 OID (判定条件)	判定を行う OID を「指定 OID のみ」・「指定 OID 以下全て」から選択します。	指定 OID のみ	*	×
型 (variable-bindings)	受信する variable-bindings の OID の型を「integer」、「OCTET STRING (String)」または「OCTET STRING (Binary)」から選択します。	integer	*	○
値 (variable-bindings)	受信する variable-bindings の値を入力します。	0	・数字 (0 ~ 2147483647) ・半角 最大 63 文字 ・数字と「,」(カンマ) カンマ区切り 1 つを 1 バイトとして 16 バイト	○
条件 (判定条件)	・型で「Integer」を選択した場合、条件を「と等しい」「以上」「以下」から選択します。 ・型で「OCTET STRING (String)」を選択した場合、条件は「と等しい」の固定になります。 ・型で「OCTET STRING (Binary)」を選択した場合、条件を「と等しい」「を含む」から選択します。	「と等しい」	*	×
監視周期	SNMP コマンドを送信する周期を入力します。省略または 0 を入力した場合、監視機能が無効になります。	0	半角数字 0 ~ 60	×
条件解除	通信タイムアウト時の条件解除の「有効」「無効」を選択します。	無効	*	×
リトライ	通信タイムアウトと判定するまでの SNMP コマンドの送信回数を設定します。	0	半角数字 0 ~ 10	×
赤・黄・緑・青・白	表示灯各色について、「点灯」・「点滅 1」・「点滅 2」・「消灯」・「変化なし」から選択します。	変化なし	*	×
音声	音声の再生パターンを「停止」「ワンショット再生」「リピート再生」「変化なし」から選択します。	変化なし	*	×
音声 (「リピート再生」 選択時)	リピート回数を設定します。 0 回でワンショット再生となり、1 ~ 254 は指定回数 +1 再生、255 回で、エンドレス再生となります。	0	半角数字 0 ~ 255	×
音声チャンネル	登録されたチャンネルを選択します。	未選択	*	×
メール送信	メール送信の「有効」・「無効」を選択します。	無効	*	×
題名	メールの題名を選択します。	1.Message	*	×
本文	メールの本文を選択します。	1 :	*	×
メール送信先	メールの送信先を選択します。	未選択	*	×
TRAP 送信	TRAP 送信の「有効」・「無効」を選択します。	無効	*	×
デジタル出力	リレー接点出力機能で「デジタル出力」選択すると表示。デジタル出力として「ON」「OFF」「変化なし」から選択します。	変化なし	*	×
合致状態再検知	条件解除動作時に、監視状態に戻す監視設定を選択します。	未選択	*	×

※表に記載している「設定省略」とは値の入力を省略する（空欄にする）ことができるかどうかを説明しています。

「○」が記載されている箇所は省略できます。

「×」が記載されている箇所は省略できない、または項目を選択して設定する項目です。

MEMO

- ・判定条件を2つとも設定した場合は、両方の条件に合致したとき、合致時動作をおこないません。
- ・条件合致状態から監視状態に戻すには、Webセットアップツールの「SNMP対応機器監視設定-条件合致検知」ページの「設定」を押下してください。全てのSNMP対応機器監視設定の状態が監視状態になります。